

■アクトレーラー

彼女は人を愛していた
彼女は平穏を願っていた
彼女は共存を望んでいた

だから彼女はその身を捧げた
誰もが生きることを願って
幸福な結末を夢見て

秘匿された崩落事故。
猟奇的な連続殺人。
姉の死体を探すヒルコ。
何かにおびえ続ける少女。

絡み合う糸を手繰り寄せた先にあるのは、たった1つの真実。
それがもたらす未来はさらなる悲劇か、それとも――

トーキョーNOVA THE AXELERATION
『ニューロエイジの方程式』

―― 最期に選んだ運命の扉は、きっと正解だと信じていた

■PL人数

プレイ人数：4人

■所要時間

プレイ時間：5～6時間

■レギュレーション

本シナリオは、キャストの使用経験点が100点～200点程度を想定している。

■特記事項

ペルソナとなるスタイルには原則として使用想定ポイントがあるが、必ずしも「その神業」である必要はない。また、キャストの死亡を防ぐために2つ以上、展開や状況によりそれ以上の防御神業が必要となる。なお、ゲストは所持している神業変更技能を使用する可能性がある。これはリサーチを行うことで明らかになる。

●ゲスト紹介

▼リエ ◎ヒルコ

『①フェイト』の依頼主（クライアント）。鳥の遺伝子を持つヤマタイのヒルコ、イラム族の少女。外見年齢は10代後半。ゲストとして扱う。

▼鹿鳴館すみれ ◎マネキン

『②カブト』の護衛対象。新星帝都大学付属高校に通う黒髪の少女。鹿鳴館剛三の一人娘。エキストラとして扱うが、神業を使用する。

▼“アイアンマン”ルーク ◎カブト

企業のロゴを全身に張り付けたナイトワーデン所属の全身義体カブト。陽気な性格でメディアへの露出も多い。『②カブト』と共に護衛任務を引き受ける。普段からボディを組んでいるのか、今回限りなのか、友好的な関係なのか等自由に決めて良い。エキストラとして扱う。神業は使用しない。

▼ミシェイラ=アイオーン ◎トーキー

『③ニューロ』の依頼主。断定的口調で話す20代前半の女性。トーキーとしての知名度は低い。エキストラとして扱うが、神業を使用する。

▼鹿鳴館剛三 ◎レッガー

『④レッガー』の依頼主。年齢は50前後。「渡りの”剛三”」と呼ばれ、河渡連合の交渉役として知られている。鹿鳴館すみれの父親。キャストとの関係はある程度自由に決めて良い。エキストラとして扱う。神業は使用しない。

■アクトハンドアウト

●コンストラクション

以下の推奨スタイルをペルソナで取得することを推奨する。

『①フェイト』 』: 探偵

『②カブト』 』: ボディガード

『③ニューロ』 』: 情報屋

『④レッガー』 』: 河渡連合のレッガー、荒事屋など

▼『①フェイト』用ハンドアウト:

コネ: リエ 推奨スート: スペード (理性)

関係: 依頼主のヒルコ

推奨スタイル: フェイト キャスト間コネクション: 『ニューロ』

君は探偵だ。今回君が請け負った仕事は人探し。探偵の仕事としては至極スタンダードなものといえるだろう。持ち込んだ相手が市民権の無いヒルコであり、探す対象が死体である、という点を除けば。

依頼主であるヒルコの少女はリエと名乗った。彼女は言う。双子の姉の死体を探してほしい、と。

【PS: ターゲットを探し出す】

▼『③ニューロ』用ハンドアウト:

コネ: ミシェイラ 推奨スート: クラブ (感情)

関係: 依頼主のトーキー

推奨スタイル: ニューロ キャスト間コネクション: 『レッガー』

情報屋である君の元に舞い込んだのは、過去に起きたある事故の調査だった。

依頼を持ち込んだのはミシェイラという名のトーキー。依頼内容は調査中に行方不明になる人間もいるような危険な案件。胡散臭い依頼人といいヤバい匂いのするネタではあるが、プラチナムの仕事(ビズ)にビビってちゃあ今どきのニューロは務まらない。

【PS: 地下鉄路線崩落事故の真相を探る】

▼『②カブト』用ハンドアウト:

コネ: 鹿鳴館すみれ 推奨スート: スペード (理性)

関係: 護衛対象の少女

推奨スタイル: カブト キャスト間コネクション: 『フェイト』

君はボディガードだ。相棒(バディ)を組む“アイアンマン”ルークと共に君が今回引き受けたのは、鹿鳴館すみれという名の少女の護衛。レッガーの重役の一人娘らしい。

2か月ほど前から自室に引きこもっているというその少女は、何か怯え続けていた。

【PS: 護衛対象を護りきる】

▼『④レッガー』用ハンドアウト:

コネ: 鹿鳴館剛三 推奨スート: スペード (理性)

関係: 昔馴染みのレッガー、世話になった恩人など

推奨スタイル: レッガー キャスト間コネクション: 『カブト』

君はレッガーだ。ある日、君にとって馴染みの深いレッガー、鹿鳴館剛三から頼み事を受けた。巷を騒がす連続猟奇殺人事件を調べてほしい、という。

依頼内容に若干の違和感を覚えたが、提示された理由は筋が通ったものだし、彼の眼差しは真剣だ。君は調査に乗り出すことにした。

【PS: 猟奇殺人事件を解決する】